

ちんじゅう しんさつ にっき  
珍獣ドクターのドタバタ診察日記

特集:あつい



たむかい けんいち  
田向 健一/著

ポプラ社〔649〕

ドクターのもとには、ヤギ・カエル・ヘビ・カメ・トカゲ・イモリなどめずらしい動物の患者がやってきます。これまでに診察した動物は百種類をこえます。

手術の道具は、その動物に合わせて身近にあるものを使用したり、手作ります。カメのレントゲン撮影には、プラスチック製のトングを使い、ウーパールーパー用の手術台はスポンジをけずって作るという具合です。

命を飼うとはどういうことかを考えさせられる一冊です。

けんきゅうかい  
わんこのハッピーごはん研究会!



ほり なおこ  
堀 直子/作

きむら いこ/絵  
木村 いこ/絵

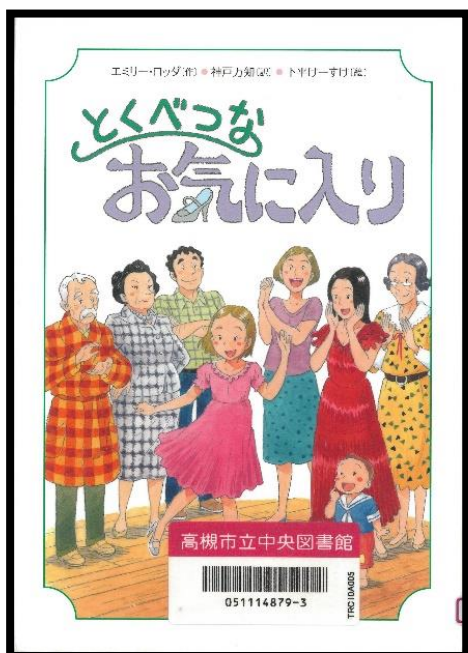
あかね書房〔913ホリ〕

あゆは、飼い犬のラッキーがいつもゆるいウンチをするので心配です。病院でみてもらい、おなかの薬を飲ませても治りません。そんな時、モモエから、犬のための手作りごはんについて教えてもらったのです。

ラッキーのために市民図書館で調べ始めたあゆは、夏休みの自由研究として、犬を飼っている友達といっしょに栄養たっぷりのごはん作りに挑戦します。

食と健康について楽しく学べます。

## とくべつなお気に入り



エミリー・ロッド/作

神戸 万知/訳

下平 けーすけ/絵

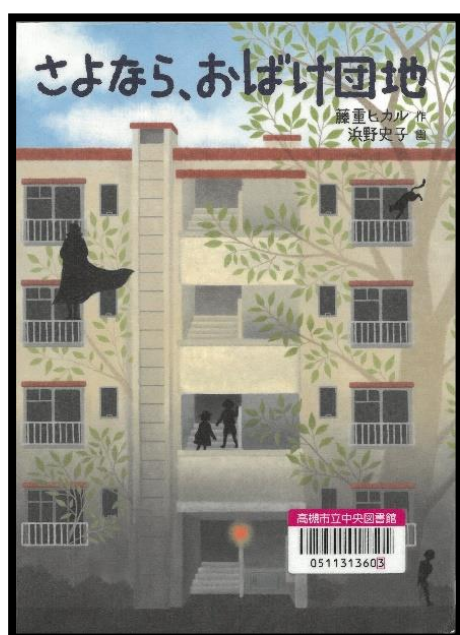
岩崎書店〔933ロツ〕

学校のバザーで古着のお店を出すため、準備に追われるケイト一家。物おき部屋には洋服がどっさり山のようになっています。お母さんは、古着の中には、前の持ち主のとくべつなお気に入りだった服があると言います。

ケイトが物おき部屋にいと、ふしぎなことに、お気に入りの服を着た人たちが現れ、服にまつわる思い出を話し始めます。

お気に入りの服を手ばなした人、見つけた人、それぞれの思いから生まれた物語です。

## さよなら、おばけ団地



藤重 ヒカル/作

浜野 史子/画

福音館書店〔913フジ〕

桜が谷団地は、建物が古くなったため、こわして新しい町を作る計画がすすんでいます。今、住んでいる人も、あと2年もすればみんな引っ越していきます。そんな団地は、本当におばけやゆうれいが出るのか分かりませんが、「おばけ団地」とよばれています。

暮らしていた人たちの思い出がつまった団地で起きる、奇妙な出来事がら話。こわい話やふしぎな話がすきな人におすすめです。